

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年6月3日 (2010.6.3)

【公表番号】特表2006-509604(P2006-509604A)

【公表日】平成18年3月23日 (2006.3.23)

【年通号数】公開・登録公報2006-012

【出願番号】特願2004-565472(P2004-565472)

【国際特許分類】

A 6 1 M 25/00 (2006.01)

A 6 1 M 25/01 (2006.01)

A 6 1 B 5/0408 (2006.01)

A 6 1 B 5/0478 (2006.01)

A 6 1 B 5/0492 (2006.01)

A 6 1 N 1/05 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 25/00 4 0 5 B

A 6 1 M 25/00 4 1 0 Z

A 6 1 M 25/00 3 0 9 B

A 6 1 B 5/04 3 0 0 J

A 6 1 N 1/05

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年3月26日 (2010.3.26)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

心臓リードを切開部から蛇行経路を通して心臓の室に対する植え込み箇所まで導入する 2 管腔案内カテーテル (b i l u m e n g u i d e c a t h e t e r) において、
カテーテル本体の基端と、該カテーテル本体の末端との間を伸べる細長いカテーテル本体を備え、

該カテーテル本体は、案内管腔 (g u i d e l u m e n) を備え、

該案内管腔は、該案内管腔の入口ポートと、カテーテル本体の末端との間を伸び、該案内管腔の直径寸法は、案内カテーテルを蛇行経路を通してステアリングする (s t e e r i n g) のを助け得るように内部に挿入された案内工具を受け入れ得るような寸法とされ、

該カテーテル本体は更に、送り込み管腔 (d e l i v e r y l u m e n) を備え、

該送り込み管腔は、該送り込み管腔の入口ポートと、カテーテル本体の末端に対し基端側にてカテーテル本体に沿って配置された送り込み管腔の出口ポートとの間を伸び、これにより案内管腔を包む末端リーダが、送り込み管腔の出口ポートからカテーテル本体の末端まで末端方向に伸び、

該送り込み管腔は、案内管腔の直径を上廻る送り込み管腔直径を有し且つ、リード導体を包みまた基端リードコネクタ要素及び末端電極の間を伸びたリード本体を有する心臓リードを蛇行経路を通して植え込み箇所まで導入することを可能にするよう心臓リードを受け入れ得る寸法とされた、2 管腔案内カテーテル。

【請求項 2】

請求項 1 の案内カテーテルにおいて、

カテーテル本体は、第一のデュロメータ硬さを有する第一の材料にて押し出し成形された送り込み管腔を包む送り込み管と、第二のデュロメータ硬さを有する第二の材料にて押し出し成形された案内管腔を包み込む案内管とを共押し出し成形し且つ、送り込み管及び案内管を細長い接続部に沿って接続することにより、形成された共押し出し成形の 2 管腔カテーテル本体を備える、案内カテーテル。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0060

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0060】

2 管腔案内カテーテル 100 は、また、案内管腔内に挿入されたガイドワイヤー 80 に代えて、かかる前進する間、末端リーダ 120 を補強し且つ、選択的に曲げる補強スタイレットを採用して蛇行経路を通して前進させてもよい。これと代替的に、スタイレット 90 と共に使用し得るようにされた一例としての細長い 2 管腔案内カテーテル 100' の第二の実施の形態が図 7 及び図 8 に示されている。2 管腔案内カテーテル 100' は、案内管腔出口ポートがブロック 138 により閉じられ又は閉止されて血液及び流体の侵入を防止することが好ましい点を除いて、上述した 2 管腔案内カテーテル 100 と実質的に同一の仕方にて製造される。スタイレット 90 は、基端のスタイレットワイヤーハンドル 94 とスタイレットワイヤーの末端 96 との間を伸べるステンレススチールワイヤー 92 を備えている。スタイレットワイヤー 92 は、患者の身体外からハブの案内管腔 125 及びカテーテルの案内管腔 116 を通って前進し、カテーテル本体の末端 118 にて閉止部 138 に対しスタイレットの末端 96 と当接し得るようにされている。スタイレットワイヤー 92 は、約 0.55 mm (約 0.022 インチ) のスタイレット直径を有することができる。スタイレット 90 は、例えば、メドトロニック (MEDTRONIC) (登録商標名) モデル 9210 ステア可能なスタイレット又は共同譲渡された米国特許第 5,873,842 号及び米国特許第 6,146,338 号に開示された型式のステア可能なスタイレットのようなステア可能なスタイレットを含むことができる。